なんじゃもんじゃの木

令和元年５月１３日(月)

５月 11 日の茨城新聞に地元大宝神社の境内に「なんじゃもんじゃ」の木が白い花を付けているという記事が載ったので見に行ってきました。

変わった名前なので，ネット検索してみると，なんじゃもんじゃの木は「一葉たご（ひとつばたご)」とも言われ，木犀（もくせい）科，学名 Chionanthus retusus　Chionanthus，ヒトツバタゴ属（retusus：先端が、ややくぼみのある円形の Chionanthus（チオナンサス）はギリシャ語の「chion（雪）＋ anthos（花)」が語源で、白い花のかたまりを雪にたとえた。
という説明が見つかりました。遠目に見ると緑の葉に雪が降りかかっているようにも見えます。